

卒業、おめでとう!

2024年3月8日、朝からの雪が止み始めた午前10時から、保護者の方々も同席されて体育館で第76回卒業式が行われました。3年1組から7組まで271名の卒業生が鷺高から旅立ちました。式は、午前10時の卒業生入場から始まり、開式の辞、国歌斉唱、卒業証書授与、校長式辞、東京都教育委員会の祝辞の後、来賓代表として柏木会長が祝辞を述べました。



土方校長からは竹端寛氏の著書「ケアしケアされ、生きていく」を引用されて、『社会が激しく変化する中で多くのことを学んでいく卒業生の皆さんが、ケアの精神を持って「人のつながり」、「未来に対する希望・夢」を持つこと、18歳の成人となった皆さんが世界や日本を支える存在であるので、自身の夢を仲間と共有して、ケアしケアされ生きていく社会を築いて欲しい』との式辞がありました。

柏木会長からは、『卒業生の皆さんの入学時はコロナ禍で大変でしたが果敢に乗り越えてきました。そのような皆さんには無限の可能性があり、それを最大化するには自分自身を信じること、自己肯定感を持つことが重要と考えます。また、挑戦して失敗した時でも、それを成長、学びと捉えること、他者に振り回されずに自身で考えること、そして自分を大切にすることが大切だと思います。』との祝辞がありました。



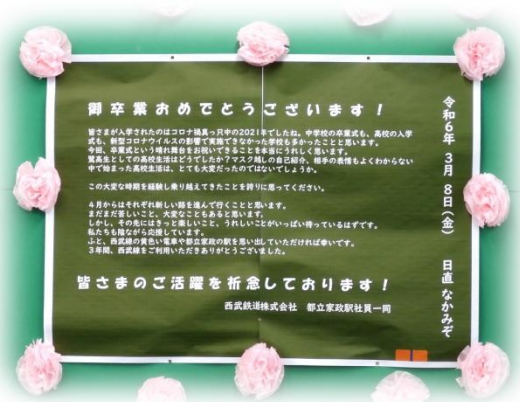
土方校長



柏木会長



体育館から退場する卒業生を見送る後輩達



都立家政駅に掲示された祝辞

ところで、卒業式の前日の3月7日、体育館では3年生が集合して卒業式の予行がありました。その際、昨年と同様、土方校長のご厚意により紫明会をアピールする機会を頂きました。予行の最後に、ノボリを掲げた役員達が登壇し、柏木会長から卒業生達に向けて紫明会への入会をお願いしました。卒業生達には紫明会への入会案内書、紫明会リーフレット等を配布しました。



今回の卒業式の為に、校舎から会場の体育館に続く通路の脇に、サクラソウとプリムラを植えたプランター群と鉢植えのソテツを設置しました。これらのプランター群とソテツの設置は、同窓生(本多土建の佐久間氏)の協力により実現しました。



モニュメント脇の花壇に植えたチューリップ (3月7日)